



和's YAMATO (わづやまと)

2020
春号

《特集》

明智光秀 「麒麟がくる」

越前の朝倉氏に仕える

足利義昭に仕え、越前から美濃へ

朝倉氏討伐で若狭に侵攻

スペシャルインタビュー

明智光秀の子孫 細川珠生氏

― 郷土 史跡めぐり 「前橋城」 県庁前史

― シリーズ群馬の芸術家 ⑧ 熊井淳一

― お客様紹介 よつ葉生活協同組合様

― 春のお出かけスポット 前橋市



「寒緋桜とヤマトシジミ (蝶)」 須藤和之 画
(ヤマトビオトープ園 タナゴ池のほとり)



麒麟がくる

美濃国では土岐氏が衰退し齋藤道三が台頭

美濃の国（現在の岐阜県南部）は鎌倉時代から室町時代まで土岐氏が支配していた。土岐氏は清和源氏の流れをくむ武家で、美濃国内各地に百を超える支族があり、土岐明智氏は室町幕府の直臣を務める有力な支族だった。光秀は土岐明智氏の出身といわれている。

天文二三年（一五四四）に織田信秀（信長の父）が美濃国に攻め込んできたが、道三がこれを撃退し、天文二七年に和睦、その後道三の娘である帰蝶（濃姫）が信長の嫁ぐ。帰蝶の母・小見の方（道三の正室）は、可児郡明智の城主・明智光継（みつづく）の娘と伝えられており、光秀の叔母にあたるため、光秀が道三に仕えていたとする説の根拠となっている。

天文二九年（一五五〇）頃、道三は美濃国の守護・土岐頼芸（よりのり）を追放し、下克上で戦国大名となった。天文二三年には、家督を息子の義龍に譲ったが、道三が義龍の弟二人に目をかけ、義龍をないがしろにしたことで、義龍は弟二人を殺害、弘治二年（一五五六）に長良川の戦いで道三と義龍が対決し、義龍が勝利し道三は敗死した。この時明智家は中立を保ったが、義龍はこれを敵対行為とみなし、光秀の叔父・光安の居城であった明智城を攻めた。勝ち目はないと考えた光安は、光秀に城から逃れるように命じ、光秀は越前に落ち延びていくのだった。

岐阜城と長良川



朝倉館の唐門



道三塚の墓碑



道三塚



一乗谷朝倉氏遺跡は、今から約530年前の文明3年(1471)、戦国大名・朝倉氏が5代103年間にわたって越前の国を支配した城下町跡。最盛期には、人口1万人を超えたといわれ、整備された城下町と雅やかな文化の華を咲かせた。しかし、朝倉氏は天文元年(1573)に織田信長に敗北。城下町には火が放たれ、その長い歴史の幕を閉じた。昭和42年に本格的な発掘調査が行われ、当主の館・武家屋敷・寺院・町屋・職人屋敷・道路に至るまで町並がほぼ完全な姿で発掘された。平成3年には朝倉遺跡内の4つの庭園が、国の「特別名勝」に指定され、平成31年5月には日本遺産にも認定され



立政寺

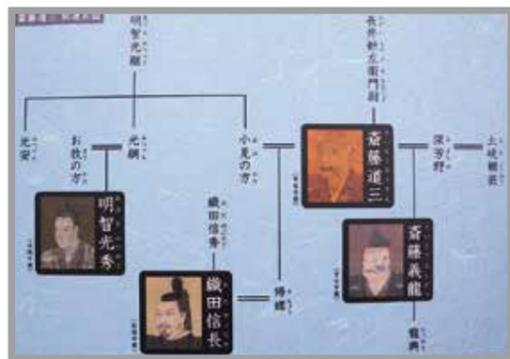


立政寺内の義昭と信長が対面した建物跡の碑

永禄二年（一五六八）七月、足利義昭は越前から美濃へ入り、信長は立政寺で義昭を迎えた。同年九月、信長は京を目指し、それを阻もうとする近江の守護で三好三人衆と通じていた六角氏と衝突する（観音寺城の戦い）。信長軍の猛攻で勝敗は一日で決し、六角氏は退散した。京を支配していた三好三人衆は、六角氏の敗北を知ると狼狽し、信長軍と戦わずに退散する。こうして信長は畿内の覇権を握り、義昭は征夷大將軍に就任したのだった。光秀は信長と義昭の橋渡しをした功で京都奉行に抜擢された。

足利義昭に仕え、越前から美濃へ

なる獣・麒麟は、腐敗した政治を糺し、善政を施す英雄の前に姿を現すと
いう。応仁の乱によって飢えや貧困によって苦しむ民を救う英雄は誰か。
麒麟はいつ姿を現すのか。
前半生は謎に包まれながら、やがて織田信長とともに天下統一に手腕をふる
う明智光秀。「麒麟がくる」では謎めいた光秀の前半生を独自の歴史解釈で描
き、後半は戦国の英傑たちとともに希望の光を追い求めた姿を描き出します。
越前の朝倉氏に仕える
朝倉氏と土岐氏は、光秀が生まれる前から親密な関係だった。弘治二年（一五五六）に美濃を脱出した光秀は、越前の称念寺（福井県坂井市）の門前に居住した。寺子屋で兵法などの学問を教えるが、やがて朝倉義景に仕えることとなる。
永禄八年（一五六五）、足利義輝第四代將軍は、敵対する三好三人衆（近畿、四国、阿波で勢力の強い三好長慶の重臣）と松永久秀に暗殺され、弟の義昭（当時は門跡にあり覚慶と名乗っていた）が幽閉される事件が起こった（永禄の変）。義輝を警護していた武將のほとんどは反乱軍に討ち取られたが、細川藤孝が生き残り、幽閉されていた義昭を救出することができた。義昭は將軍家の復興のために朝倉義景の支援を受



斎藤道三 関連系図

朝倉氏討伐で若狭に侵攻

光秀は足利幕府の幕臣でありながら、信長からも指示を受け、仕事をしていた。義昭は信長の援助があつて将軍になれたものの、実権は信長にあることに不満を持ち、諸国の大名に私信を送り自らの権威回復を図ろうとしていた。それを知った信長は、義昭の動きをけん制しており、光秀は将軍よりも実力を持っている信長に仕えたいという気持ちがあつたのかもしれない。元亀元年（一五七〇）、信長は朝倉義景討伐のため越前に向かい、光秀も参陣した。光秀は明知城を脱出して越前の朝倉氏に世話になつたにもかかわらず、朝倉討伐に参加するのは複雑な心境だつたに違いない。

信長は越前に入り、朝倉氏の支城の金ヶ崎城を攻め落とした。このまま進軍して勝利するかにみえたが、近江の浅井長政が信長に反逆し、越前に攻め上つてくるとの情報もたらされた。

浅井長政には信長の妹・お市の方

が嫁いでいる。信長は、長政の謀反はまったく想像していなかったの、このままでは朝倉、浅井軍にはさみ討ちにされてしまう。信長は京都に撤退するしかないが、講和をしないままの一方的な撤退は、敵に背中を見せるため不利になる。最後部の部隊が防戦し撤退するが、その部隊は敵の攻撃を受け撤退できないで討ち取られる危険と隣り合わせだ。古文書「太閤記」には、「藤吉郎金ヶ崎の退き口」と題して、秀吉の働きで金ヶ崎から撤退したことが描写されている。しかし、この撤退劇は秀吉だけでなく、光秀と池田勝正も加わり、三人の連携で成しえた作戦だつたようだ。光秀は信長軍にとつて欠かせない存在となつていた。



延元元年(1336)恒良、尊良両親王を守護した新田義貞が足利軍と戦った古戦場。中腹の金崎宮には両親王が祀られている。戦国の世には朝倉・浅井軍と信長・秀吉・家康の戦いの場にもなった。小高い山にあるため眺めも良く、桜の名所としても知られている。

略年表

大永8年(1528)	この年代の出生と推定されている。明智光秀生誕の地が複数ある
永禄11年(1568)	織田信長に仕える。足利義昭が室町幕府15代将軍に
永禄13年(1570)	金ヶ崎の戦いで殿(しんがり)を務め敵の追撃を防ぐ
元亀2年(1571)	信長に従い比叡山焼き討ちを実行
元亀3年(1572)	琵琶湖畔に居城となる坂本城を築城
天正元年(1573)	足利義昭が立てこもる埴島城攻めに参戦
天正2年(1574)	信長とともに東美濃に出陣
天正3年(1575)	丹波方面の攻略の任にあたる
天正4年(1576)	妻の熙子が死去
天正5年(1577)	細川藤孝らと大和片岡城を攻略
天正6年(1578)	娘の玉子(ガラシャ)が細川家に嫁ぐ
天正7年(1579)	丹波氷上(ひかみ)城を攻める
天正8年(1580)	信長から丹波の国(29万石)を与えられる
天正9年(1581)	京都馬揃えの責任者となる
天正10年(1582)	安土城で徳川家康の接待役を務める。光秀が信長を襲撃する本能寺の変で信長は自害。秀吉らの軍勢と京都の山崎で戦闘となり敗北、落ち武者狩りで敗死。

麒麟がくる 登場人物

明智光秀

(長谷川博己)

美濃の明智家は下級武士であったが、光秀は勇敢でありながら知力が高く、美濃を支配する斎藤道三に見いだされ家臣となり、重要な働きをする。道三が戦に敗れ光秀は主君を失うが、織田信長に出会うことで運命の歯車が動き出す。

明智家

鷗子 (木村文乃)	牧 (石川さゆり)	明智光安 (西村まさ彦)	藤田伝吾 (徳重聡)	常 (生越千晴)
光秀の正室。美濃の土豪・妻木氏の娘。光秀を支える女性。	光秀の母。光秀が幼い頃に亡くなった父代わりとなって成長を見守る優しい母。	光秀の叔父(父の弟)。明智家の当主で、道三の家臣。明智家の将来を心配している。	明智家に仕える家臣。戦では武功を上げ、光秀を慕っている。	明智家の下女。
			木助 (水野智則)	
			明智家の家人。	

織田家

織田信秀 (高橋克典)	織田信長 (染谷将太)	織田信光 (木下ほうか)	土田御前 (檀れい)	平手政秀 (上杉祥三)
織田信長の父。尾張で道三や駿河の今川と覇権争いをしている。	光秀が尾張で出会う信秀の嫡男。天下統一を目指し光秀も手腕を発揮する。	織田信秀の弟。	織田信秀の継室で、信長とその弟・信勝(信行)の生母。幼少時には周囲からうつけと思われていた信長を嫌い、弟の信勝をかわいがる。	信秀を支える織田家の老臣。信長のもり役。
		織田信勝 (木村了)		
		織田信長の弟。		

斎藤家

斎藤道三 (本木雅弘)	斎藤義龍 (伊藤英明)	帰蝶(濃姫) (川口春奈)	斎藤孫四郎 (長谷川純)	稲葉良通 (一鉄)	深芳野 (南果歩)
美濃の守護代で光秀の主君。亡父とともに親子二代で美濃の国を支配しようと目論む。軍事、政略に長けている。	道三の嫡男。自らの出自に疑問を持ち、父とはわだかまりがある。光秀とは幼少期から交流がある。	道三の娘。光秀とは姻戚関係がある。政略結婚により、のちに織田信長の正妻となる。	斎藤道三の次男。	(村田雄浩)	斎藤道三の側室。
			斎藤喜平次 (犬飼直紀)	小見の方 (片岡京子)	
			斎藤道三の三男。	斎藤道三の正室。	

今川家

今川義元 (片岡愛之助)	太原雪斎 (伊吹吾郎)	足利義輝 (向井理)	足利義昭 (滝藤賢一)	三淵藤英 (谷原章介)	細川藤孝 (幽斎)
「海道一の弓取り」の異名を持ち、道三たちがおびえる東海最強の戦国武将。	今川義元の軍師。青年期から義元に仕え、今川家の隆盛に大きく貢献した。	室町幕府第13代将軍。	13代将軍足利義輝の弟。義輝亡き後、室町幕府最後の将軍となる。	室町幕府幕臣。	室町幕府幕臣。

足利家

京の人々

松平広忠 (浅利陽介)	松平竹千代 (岩田琉聖)	徳川家康 (風間俊介)	駒 (門脇 麦)	望月東庵 (堺正章)	土岐頼芸 (尾美としのり)
松平竹千代の父。	松平広忠の嫡男。家康の幼少期。	三河の戦国大名で織田信長と同盟を結ぶ。	医師・東庵の娘で、光秀とは京で出会う。伝説のいきもの麒麟の存在を信じている。	京在住の医師。朝廷や各地の戦国大名などに特殊な人脈がある。光秀を導く存在。	美濃の守護職。道三と結託して兄を守護の座から追放し、家督争いをしたことがある。
於大 (松本若菜)	水野信元 (横田栄司)		伊呂波太夫 (尾野真千子)	伊平治 (玉置玲央)	土岐頼純 (矢野聖人)
松平竹千代の母。	松平竹千代の伯父。		旅芸人一座の女座長。	鉄砲づくりの職人。	帰蝶の最初の夫。

尾張の農民

三河農民

室町幕府管領

摂津の守護代

三好家家臣

木下藤吉郎 (佐々木蔵之介)	菊丸 (岡村隆史)	細川晴元 (国広富之)	三好長慶 (山路和弘)	松永久秀 (吉田鋼太郎)
のちの秀吉。身分が低かったものの、信長の家臣として頭角を現していく。光秀生涯のライバル。	光秀が美濃で出会う三河出身の農民。光秀の危機に姿を現して援助する。			

明智光秀の子孫 細川珠生氏

正義の人 明智光秀

明智光秀といえば「三天下」の裏切り者といったイメージが先行しがちだが、近頃はマイナスイメージではなく、その謎めいた人物像がクローズアップされています。明智光秀の子孫である政治ジャーナリストの細川珠生氏に、光秀とその娘の細川玉（ガラシヤ）について語っていただきました。

（2020年1月16日取材）
聞き手：構成 木下直也



「明智光秀といえば、主君を討った謀反人というイメージが強いのですが、細川さんほどのようにとらえていらっしゃいますか。」

私は父（細川隆郎氏）から、光秀は「正義の人」であったと教えられてきました。横暴をきわめた主君・織田信長を、これ以上生かしておいてはいけないという考えで本能寺の変をおこしたということです。光秀の動機は、「黒幕説」、「野望説」など諸説が入り乱れていますが、実際には光秀が誰かからの働きかけや共謀で謀反を起こしたとは考えにくいと思います。歴史を楽しむためには否定しませんが。

「信長は、自らがあらゆる宗教を超越した王になろうとしたとする説があります。信長の野望に対して、光秀は歯止めをかけようとしたのでしょうか。」

信長は勢力を増すにつれ、朝廷に無理難題を押し付けるようになってきました。比叡山でさえ焼き討ちにしてしまう信長ですから、天皇家もあらゆる宗教も滅ぼしてしまう可能性は否定できなかったかもしれません。信長が討たれなければ、天皇家はもしかしたら途絶えていた可能性がありますね。

光秀とガラシヤの強い絆

「それにしても、文化人で教養のある光秀が、武家の道理に反する謀反を実行したのは戦国史のミステリーですね。」

「ときは今天（あめ）が下（した）しる五月かな」という光秀が詠んだ句は、本能寺の変を起こすことを宣言した句と解釈されています。この句は、京都の愛宕神社で百韻連歌の会を催した時のもので、この句が発句となっています。連歌とは、句と句の関連性や、全体の起承転結など決まり事が多く、知識と教養、それを形づける文才が必要です。百韻というのは、上の句、下の句をそれぞれ一句として、それを参加者で百句続けるとういうものですから、かなり才能が必要になります。光秀は里村紹巴（さとむらじょうは）という達人に師事し、このような連歌の会を度々催しており、文化人との交流が活発でした。また、津田宗久（つだそうきゅう）という茶道具の名人について茶道にも精通し、茶会も催していました。

文化人として一流だった光秀がなぜ、逆臣といわれるような行動に出たのか。それは、光秀ほどの教養人であったからこそ、天下をとるためなら手段を選ばない信長の生き方や激しい性格が耐えられなかったのかもしれない。

「天皇家を守るために、光秀は信長を討ったのでしょうか。」

私はそれも「説だと思えますが、決定打とも思えません。ただ光秀は「天下所司代」「天下」は京のことですが、京のあらゆる行政を司どる役割を担っており、朝廷や公家とも通づるところがあった。信長と朝廷の間で、色々考えることがあったとは思いますが。とはいえ、朝廷、つまり天皇家を守るためだけだったのかは、わかりません。

色々言われている「怨恨説」や「不安説」など「主君を討つ」という大それた行動に出るにはたくさん理由があったと思うし、織田家臣団の中にも同じように思っていた人はいるはずですが。でも、今の世でもそうですが、「おかしい」と思っても、声をあげるのは難しいし、ましてや行動に移そうとは、なかなか思わないですよ。その中で、光秀はやはり正義感のある立派な人。父が私に教えてきたことはそういう光秀像だったのです。

「光秀の母親が信長のせいで殺されたり、侮辱的な暴行を受けたりしたから、その恨みで謀反を起こしたとする説がありますが。」

いくら主君とはいえ、信長に対して恨みを抱いてもおかしくないエピソードがあまりにもたくさんあるからだと思えます。たとえば、諸説ありますが、丹波攻略の過程で、波多野秀治と人質を交わす条件で和議を結び、光秀は自分の「母親」を人質に出しました。その後、波多野秀治は安土城に赴き助命を求めますが、信長は捕らえて処刑したとされています。主君を処刑された波多野一族は怒って人質だった光秀の母を殺したと言われています。光秀は波多野氏の抵抗に苦勞し、自分の母を差し出してまでこぎつけた和睦だったのに、信長は事情を聞かずに処刑し、そのせいで実の「母親」を殺されてしまったのです。主君といえども許せないと思ってもおかしくないことでしょう。

その他にも、信長の横暴ぶりを伝える話は複数残っており、光秀は丹波から遠方への国替えを迫られ、苦慮していたという話もあります。信長の命で苦勞して平定し、領地として得た丹波からも追い出されてしまうかもしれない。光秀が不安と恨みをつのらせていき、明智家の行く末を案じて、いつかは信長を討たなければ、と考えても不思議ではないですよ。

細川珠生氏 略歴

ジャーナリスト

明智光秀の娘・玉と熊本藩主・細川忠興の長男・忠隆夫妻の直系卑属。キリスト教カトリック信者で、洗礼名はガラシャ。

政治評論家・故細川隆一郎は父、故細川隆元は大叔父。

1968年東京都生まれ。聖心女子大学卒。米ペパーダイン大学政治学部留学。政治全般や地方自治、教育などの執筆、講演、メディア活動を行う。

『細川珠生のモーニングトーク』（ラジオ日本、毎土7時5分）は現在放送24年目。2003～2011年まで東京都品川区教育委員、政府の審議会など委員を歴任。現在、星槎大学非常勤講師、三井住友建設株式会社社外取締役を務める。

著書「娘のいいぶん～ガンコ親父にうまく育てられる法」(第15回日本文芸大賞女流文学新人賞受賞)、「自治体の挑戦」他多数。「フジサンケイビジネスアイ“高論卓説”」(産経新聞社)レギュラー執筆など。日本舞踊岩井流師範。一児の母。

光秀ゆかりの地、京都・かめおか観光PR大使。



収録中の細川氏
(中外日報より転載)

インタビューを終えて

細川氏は三井住友建設(株)の社外取締役を務めていることもあり、建設業の外からの立場を生かし、女性活躍の方策や、建設業界で働く若い人たちの活性化に取り組んでいます。細川玉が光秀から教育を受け、新しい思想のキリスト教に傾倒し、その存在と行動が歴史を動かしたように、細川氏の政治ジャーナリストとして培った見識や発信力が、建設業界に新風を吹き込むかもしれません。(木下)



明智光秀公像(京都府亀岡市)



(2019年 宝島社)



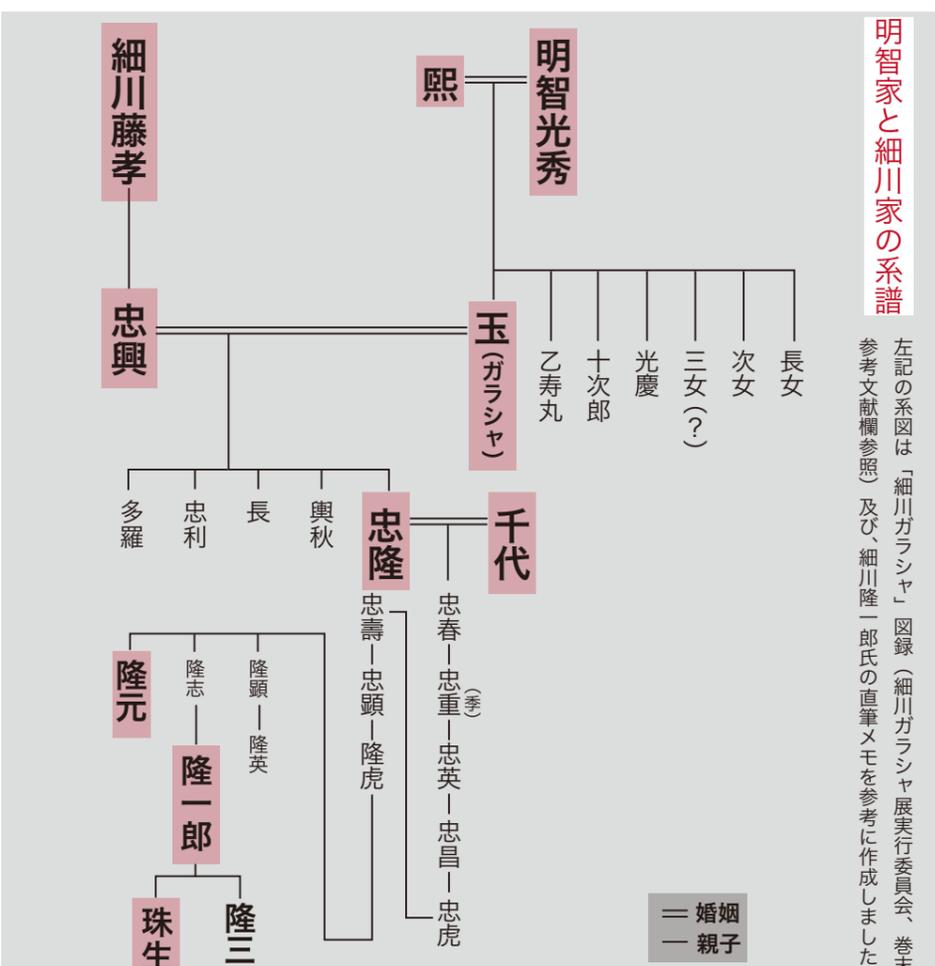
(共著 本郷和人・2020年 宝島社)

《著書の紹介》

《新刊》

「光秀の娘である細川ガラシャ(玉)が、関ヶ原の戦いの時に辞世の句として詠んだ「散りぬべき とき知りてこそ世の中の 花も花なれ 人も人なれ」の句が有名です。」
「そうですね。「散りぬべきとき」の「とき」が、光秀が愛宕百韻で詠んだ「ときは今」の「とき」に呼応しているのではないかとする解釈もあります。でも私はこの説には懐疑的です。私の解釈は、「散りぬべきとき知りてこそ世の中の」「世の中」のほうに、ガラシャ(玉)の思いが強く込められているのではないかなと思っています。玉は、父の光秀が信長を討つたために丹後の山奥に幽閉され、幸せな生活が一変します。父の光秀と嫁ぎ先の舅・細川藤孝は、同じ織田家臣であり、教養人としても通ずるところがありません。夫・忠興は美男子にして武将としても有能。正に絵に描いたような幸せな結婚生活から一気に奈落の底に突き落とされたような境遇

を強いられました。そんな玉を救ったのは、キリスト教です。キリスト教では、すべての出来事は神様の思召しであり、無意味なものはないと教えます。関ヶ原の戦いの際に、この世でもあの世でも自分が苦しんだことは無にならない、ずっと生き続ける自分を思い、死を受け入れる決心がついたのだと私は考えています。玉は最期を迎える時、「父の行為が無駄では無かった、それを受け入れるための自分の苦悩も無駄でなかったのだ」と確信し、あの世に旅立って行ったのだらうと同じキリスト教信者である私は、そんな玉の心情を推察しています。」
「ガラシャは光秀の影響を受けていたのでしょうか。」
玉に聡明さ、知的好奇心の高さ、探求心や意思の強さが備わっていたとすれば、この玉の資質は、光秀の教育と関係があると思います。



明智家と細川家の系譜

左記の系図は「細川ガラシャ」図録(細川ガラシャ展実行委員会、巻末参考文献欄参照)及び、細川隆一郎氏の直筆メモを参考に作成しました。

玉と交流のあったキリスト教の神父たちは、玉の質問攻めにびっくりしたそうです。ぜひ、そんな父親としての光秀像も想像して欲しいと思います。

「光秀の人となりやガラシャについて、新しい発見がありました。これから「麒麟がくる」で光秀がどのように描かれるか、興味は尽きません。本日はありがとうございました。」

熊井 淳一

赤城山麓で山羊を飼い、チーズを作る彫刻家

元群馬県立近代美術館学芸員 染谷 滋

仔山羊を抱く少女

株式会社ヤマトの本社玄関前の出入口に、二体の彫刻作品が置かれている。北側にあるのが『仔山羊を抱く』、南側は『まきばのできごと』と題されていて、どちらも作者は熊井淳一。

赤城山麓にアトリエを構える作者を訪ね、この作品のことを伺うと「母子像のことですか？」との第一声。実は『仔山羊を抱く』には次のようなエピソードがあった。

大阪府交野市にある女子少年院で、収監されている少女たちに愛情を感じてもらえるような彫刻の設置を計画していた。その種の代表的なモチーフといえば、幼子を抱く母親の姿すなわち母子像なのだが、場所柄事件と結びつくケースもあるもので困っていたところ、偶然この作品と出合い一目ぼれ。そこに、母子像以上に普遍的な愛情を見て、同一作品の制作依頼があったのだ。

ブロンズ彫刻は複数制作が可能だが、ほとんど一体しか作らない作者にとっては例外的な作品となった。

苦学生だった青春

熊井淳一は一九三八(昭和二三)年二月三日に東京の浅草で生まれたが、戦争で埼玉県桶川市に疎開。戦後もそのままそこに住むことになった。6人兄弟の長男で、中学生の頃から彫刻家になりたいと考えていたが、父親が事業に失敗して家計が苦しくなり、東京の弁護士事務所に住み込みで働きながら夜学に通う日々だった。

ところが皮肉なことに、通っていた上野高校のすぐ隣が憧れだった東京芸術大学で、高校の窓から彫刻の学生の制作現場が真下に見えた。一度はあきらめた彫刻家への夢が再びふくらんだ。仕事が軌道に乗ってきた父親も、息子の夢を許した。もともと成績優秀だった熊井は、人よりも少し遅れて名門の埼玉県立浦和高校に入学し直し、遅れた時間を取り戻すために、勉学とデッサンの修練に全力を尽くす。

こうして才能と努力の人だった熊井は、見事東京芸術大学彫刻科に入学。一九六五年には大学院の彫刻専攻を修了した。

铸造技術と山羊のチーズ作り

一口に彫刻と言っても、木や石、金属など素材の違いで大きく異なる。熊井が得意とする彫刻は、粘土で作った原型を石膏で型取りし、ブロンズに铸造する本格的なものだ。最後の工程となる铸造には特殊な技術が必要で、ほとんどの作家が専門業者に外注するのが普通だ。ところが職人肌の熊井は、人に任せるのが嫌いで、自らその技術を取得してしまつた。

そうになると、他人の作品の铸造を引受けることも仕事となり、作家としてはどちらが本業か分からなくなる。

これはチーズ作りも同じで、もともとは弟が飼っていた一頭の山羊の世話を引受けたのがきっかけだったが、今では何頭もの山羊を飼って、絞った乳からチーズ作りをするプロだ。独学で製法を学び、「ギヤルソン・チーズ工房」として知る人ぞ知る国産山羊チーズの名品を生み出している。

何事にも徹底して打ち込む熊井には、何かを作りに出す仕事にわけへだてはない。

高田博厚と一元会

日本を代表する彫刻家として著名な高田博厚(一九〇〇〜八七)は、煥乎堂のオーナーで詩人の高橋元吉とは無二の親友だった。元吉が亡くなった後、煥乎堂の経営を引き継いだ息子の徹から個展の開催を依頼された高田は、一九七〇年六月、煥乎堂ギヤラリーで「高橋元吉・高田博厚二人展」を開催して好評を博した。継続した展覧会の依頼を受けた高

高田博厚の精神を継ぐ

高田は第二回一元会展のパンフレットに次のように書いた。「彫刻とは、貧困にも耐えぬく、辛抱強い労働者の業で、彼らにも長い道が待っています」と。高田の年譜をひもとくと、若い頃に山羊を飼って乳を売る仕事をしている。あらゆる意味で、熊井は高田の精神を継いでいる。仕事への真摯な姿勢と人に接する誠実さが、嫌味の無い作品に良く表われているからだ。

県内でほかに熊井作品を見ることが出来るのは、渋川市総合公園の『春のまきば』や前橋工科大学の『LA POESIE』などわずかだが、ヤマトギヤラリーでは、一九九五(平成七)年と二〇〇五年に熊井の個展が開かれている。前橋市内の画廊でも、比較的頻りに展示の機会があるので、気を付けていれば巡り会うだろう。

もし作家本人と出会うチャンスがあれば、遠慮せずに語りかけていただきたい。どんな素人になっても親切に答えてくれ、あなたはきっと熊井ファンになるに違いない。



仔山羊を抱く



まきばのできごと



因われの山羊

略歴 熊井淳一 KUMAI JUNICHI

- 1938年 東京に生まれる
 - 1944年 埼玉県桶川市に疎開後そこに住む
 - 1965年 東京芸術大学大学院彫刻専攻修了
 - 1971年 一元会展出品(以後現在まで)
 - 1987年 群馬県富土見村にアトリエと住居を構え現在に至る
 - 1989年「沙鷄会」展出品(煥乎堂ギヤラリー)
 - 1990年「考える手」展(銀座アートホール)
 - 1995年 熊井淳一展(ヤマトホールギヤラリー)
 - 2000年 熊井淳一展(桶川市民ホール)
 - 2016年 銀座和光でグループ展
- 個展
- 前橋煥乎堂ギヤラリー・秋田響画廊・日本橋高島屋他、
 - パブリック・宮城県緑と彫刻の散歩道・群馬県立文学
 - 館・千葉県富津市庁舎・前橋市立工科大学・渋川市運
 - 動公園・桶川市城山公園他・熊井淳一他多数

関東の華「前橋城」ときめきの県庁前史

公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団
資料部長 桜岡正信

前橋城遺跡という名前を聞いて、どこにある遺跡かイメージできるでしょうか。実は、現在の県庁の場所なのです。遺跡の名前は、この場所が、かつて前橋城の本丸だったことに由来しています。この遺跡は、

東進出の拠点とした城として登場します。発掘調査でも新潟県の特徴を持つ土器が出土し、越後の軍勢が入城していたことが裏付けられています。

天正三年（一五七五）の「長篠の戦」の後、

県庁舎の建設に伴って群馬県教育委員会によって発掘調査が行われ、平安時代から江戸時代までの遺構遺物が発見されました。特に遺構遺物は、前橋城の移り変わりを裏付ける貴重な資料となっています。ここでは前橋城の歴史と発掘調査の概要を紹介しながら、「前橋城おさんぽマップ」で、関東の華を忍んでいただいたいと思えます。

前橋城の前身は、戦国時代にあった「厩橋城」と考えられています。当時の上野国（群馬県）は、越後の上杉謙信、甲斐の武田信玄、相模の北条氏康などの戦国大名が熾烈な覇権争いを繰り返した舞台となっており、厩橋城も上杉謙信が関

与りました。さらに、天正十八年（一五九〇）の豊臣秀吉の天下統一に伴って関東地方に国替えとなった徳川家康は、厩橋城の城主として側近の平岩親吉を任じました。発掘調査では厩橋城の全容に迫るような遺構は確認できませんでしたが、県庁の昭和庁舎西側の駐車場となっている場所の調査で、深さ六メートルに及ぶV字状に掘られた堀の一部が確認されました。

このように、関東の華前橋城は、歴史的にもとても面白いエピソードを持つ城なのです。現在でも県庁北側には再築された前橋城本丸を取り囲んでいた土塁の一部が残り、周辺には前橋城を忍ぶ場所が

他にも関連したものに、井戸の中から出土した木簡（木製の荷札）があります。これは、幕府の大老に上り詰め「下馬將軍」とも呼ばれた四代藩主酒井忠清の時の筆頭家老「高須隼人」とその母親の「松連院」の名を記したもので、大変貴重な発見です。前橋城は、その後利根川の洪水などで本丸西側が削られ、城としての機能に危うくなったため、酒井氏は国替えを願い出て姫路へと移り、寛延二年（一七四九）に松平朝矩が姫路から前橋へと入城します。しかし、本丸の崩壊が続いたため、松平氏は明和四年（一七六七）に川越へと移り前橋城は廃城となり取り壊されてしまいました。それから約二〇〇年、前橋城は荒れた状態が続き、この間に天明三年（一七八三）の浅間山の噴火に伴って発生した泥流が堀跡にも流入したことが発掘調査によって確認されました。その後、慶応三年（一八六七）に生糸の生産で財力

を蓄えた前橋の商人たちの力を借りて、松平直克は前橋城を国内最新の城として再築し、再び前橋へと戻りました。しかし、前橋城は城としての役割をほとんど果たすことなく明治維新を迎えました。

その後、本丸に県庁が置かれ本丸御殿は県庁舎として、昭和三年（一九二八）に完成した昭和庁舎へとバトンを繋ぎました。発掘調査では、この本丸御殿の玄関とそれに続く本城門の跡が発見されました。

このように、関東の華前橋城は、歴史的にもとても面白いエピソードを持つ城なのです。現在でも県庁北側には再築された前橋城本丸を取り囲んでいた土塁の一部が残り、周辺には前橋城を忍ぶ場所が

いくつも見られます。それでは「前橋城おさんぽマップ」を見ながら、前橋城散歩を楽しんでみてはいかがでしょうか。



酒井氏時代の前橋城三の門の石垣

お客様紹介

よつ葉生活協同組合様

栃木県小山市

よつ葉生活協同組合様の小山センター再編計画が完了しました。既存物流センターを稼働しながら隣地に新施設を建設し、既存センターの改修を行い、要冷センターの拡充を図りました。再編計画の基本構想から着工までのコストラクション・マネジメントは株式会社SPM、実設計施工は株式会社ヤマトです。新設・改修施設は一層の品質向上を目指し、地産地消、いのちと健康・暮らしを守る施設となっております。

施設概要

所在地 栃木県小山市栗宮1-2-23
 新築棟 S造：地上2階建 延床面積約2104㎡
 既存改修棟 S造：平屋建 延床面積約1132㎡

お客様インタビュー



よつ葉生活協同組合 理事長 倉持まゆみ様

よつ葉生活協同組合は、2020年で創立38周年を迎えます。1970年代に、「安全な牛乳を子どもたちに飲ませたい」というお母さんたちが、「よつ葉牛乳を飲む会社」として共同購入の会を立ち上げたのが始まりでした。その後、牛乳だけではなく、他にも安心安全な食品を求める想いが広がって、1998年に「生活協同組合よつ葉会」が誕生しました。

それから30年以上、「いのちと健康 くらしを守る」という理念を守り続け、化学合成農薬・食品添加物・合成洗剤の問題から子どもたちを守るため、安心安全な生活の普及に取り組みしてきました。

私たちを取りまく食や環境の安全を脅かす問題は、次から次へと起こっています。よつ葉生協では、安全性が確定していない遺伝子組み換え食品に反対し、よつ葉独自の自主基準を設けました。国産品を原則として、輸入原料、食品添加物、遺伝子組換え作物などはできるかぎり排除しています。TPPPの動きなど、常に最新の情報をしっかりと把握し、組合員へ正確な情報をお知らせしながら、より良い商品をお届けできるよつ葉に努力を続けています。

よつ葉生協環境への取り組み

- 調味料ビン(醤油など)のリユースに取り組んでいます。
- 牛乳パック、ハッピー内袋、注文書セットの回収リサイクルに取り組んでいます。
- 6台の配送車の燃料にBDF(排油再生燃料)を使用しています。
- 生協内部の照明をLEDとしています。また太陽光発電の設備を小山本部のセンター3棟に設置しています。
- 環境や人に優しい有機農業の普及推進に取り組んでいます。国内農業を応援する農業体験を連続開催企画として、毎年実施しています。



完成写真



完成イメージ

3DCG 正面玄関



3DCG バックヤード



3DCG 鳥瞰

群馬県前橋市

春の Spring お出かけ outing spot in Maebashi スポット

赤城山のツツジ

赤城山の山頂では、5月から6月にかけて、群馬県の県花・レンゲツツジをはじめ、色とりどりのレンゲツツジを楽しむことができます。特に新坂平では約1000本ものレンゲツツジの大群生が見られます。



赤城山のツツジ

アクセス：JR前橋駅からバス約70分
お問い合わせ：赤城山総合観光案内所
TEL.027-287-8061

好評開催中

前橋美術の環(わ)ー自然との共鳴2020ー

2020年1月28日(火)～3月27日(金)

株式会社ヤマト本社1階ギャラリーホール 入場無料

開催時間：10時～17時 休館日：土・日・祝日

出品作家：今井允俊・今井ひさ子・今井由佳・マッテオ フィオラ
モンティ・田中正・八木隆行・喜多村徹雄・カナイサワコ・後藤
朋美・天笠恵子・内田望美

本展は、アーツ前橋で開催された「前橋の美術2020ートナリのビ
ジューター」(2月8日～3月15日)の協力企画展として開催します。

赤城南面千本桜

「さくら名所100選の地」(公財 日本さくらの会)に選ばれている前橋市を代表する桜の名所です。「赤城南面千本桜」と呼ばれる並木がある「みやぎ千本桜の森公園」内には、1000本を超える桜が咲き誇ります。満開時には桜のトンネルが出来上がり、多くの観光客が訪れます。



千本桜のトンネル

アクセス：上毛電鉄大胡駅からバス20分
お問い合わせ：前橋観光コンベンション協会
TEL.027-235-2211

敷島公園 門倉テクノばら園

ばら園内には、前橋のばら「あかぎの輝き」など約600種・7,000株のばらが植栽されています。5月中旬からはばら園祭が始まります。日没から午後8時半まで、園内がライトアップされ、幻想的なばらの姿が楽しめます。



敷島公園のばら園

アクセス：JR前橋駅からバス約20分
お問い合わせ：前橋市公園管理事務所
TEL.027-225-2116



和's YAMATO (わずやまと) 春号 (第44号) 2020

【和's yamato】の由来

ヤマトの漢字の「和」、Water&Airの頭文字を合わせて「WA」、「S」はスタート。

ヤマトが発信するメッセージです。和's YAMATO 春号/2020年3月発行

発行：株式会社ヤマト (広報室) 群馬県前橋市古市町 118 tel:027-290-1891 fax:027-290-1896

建設プロダクト  株式会社ヤマト 〒371-0844 群馬県前橋市古市町 118 tel:027-290-1800 (代) fax:027-290-1896

支店 / 東京、埼玉、栃木、横浜、千葉、高崎、東北 営業所 / 軽井沢、伊勢崎、神奈川県央、茨城、太田、東松山、新潟、長野、波川、川口、多摩、横須賀、滋賀、青森
付属施設 / 大和環境技術研究所、大和分析センター、加工センター、朝倉工場、教育センター、コンタクトセンター、サポートセンター

ヤマトホームページ www.yamato-se.co.jp/

